

月刊

# GPP



Vol.8

平成27年11月号

10月24日 東京大学中島ホールで開催されました「第10回一造会大賞」にて一造会会長賞を頂きました。

弊社のセルドロンは循環型のサイクルで自然環境に悪影響をあたえない商材として高く評価され今後に期待出来るとして表彰されました。



▲今回の会場です



TOPICS 1

第10回一造会大賞にて一造会会長賞を受賞

- ▲藤井の緊張感が伝わってきます
- ▶セルドロンのプレゼンもおこないました



## 一造会とは・・・

全国1級造園施工管理技士の会(一造会) 様々な技術研修会、現場見学会、海外技術視察見学会などを行い、国土交通省、など官庁関係の技術者や日造協からも一造会の活動については高い評価を得ており、現在も会員同士の交流や活動を通して、広く活躍を続けている。

愛知県岡崎市で株式会社山口土木様がデモを実施いたしました。上下水道課では、水道管の工事を行う際に、ジャバジャバの土壌を扱うことが多いため、セルドロンを紹介してまいりました。ジャバジャバな土壌に困っている方が多いようで午前後に分けて4回のデモを行い、総勢100名近く見学に来て頂きました。トラックに載せて運び出すことが簡単にできて今後の現場で活用いただけるようでした。

## 愛知県岡崎市でデモ実施

TOPICS 2



## 大興産業株式会社様にて セルドロンテストを実施

■重機リースをしている大興産業にて、返却された重機を次回リースのため洗浄ピットで洗浄をおこないます。  
その際、キャタピラに付着した土が汚泥として残ってしまいます。

洗浄ピット内に堆積した汚泥をダンプで運搬できる程度に固くする必要があります。通常は数日放置して乾くのを待ちますが季節によってはなかなか乾かず運搬することができません。そこでセルドロンが登場です。



セルドロン攪拌後の残土は、最終的に一般残土として搬出

- ①4日放置しましたが液状のままです。
- ②いよいよセルドロンの登場です。
- ③セルドロンを先に散布してその上に汚泥を流し込みます。
- ④攪拌後です。作業時間は1時間。すぐに運び出しができます。

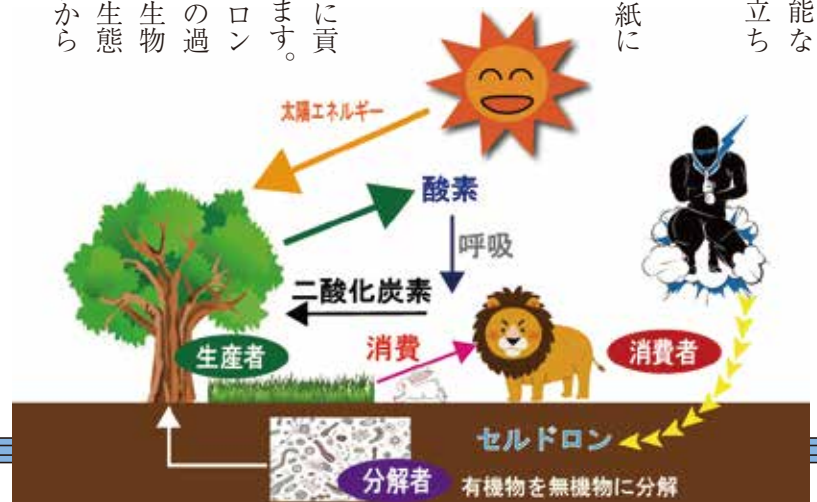
## コラムコーナー

株式会社富士植木 樹木医 小島様よりセルドロンについて頂いたコラムです。

### 食物連鎖とセルドロン

江戸末期に開国したのち、日本は「ガーデンアイランド」と呼ばれました。  
自然の山、海、川の美しい風景だけでなく、里山・里海・小庭園・園芸・江戸の町などの日本らしい景観やそこでの生活が賞されたのだと思います。  
そこには人と多くの生物が共存してきた結果が想像できます。生物と共存することは生態系のバランス、生物多様性が重要となります。  
古紙を集めて再び紙にすることは昔から行われていたリサイクルですが、土にセルドロンを混ぜることも持続可能な循環型社会の環境に貢献することになります。なぜなら、セルドロンが木や草に戻るその過程や結果で多くの生物と関わり、多様な生態系循環をもたらしから

結果的に持続可能な循環社会が成り立ちます。



## 展示会

イベント

参加情報

JapanHome & Building Show 2015

11月18日～20日

### 事務所移転のお知らせ

株式会社グロースパートナーズは11月よりオフィスを銀座から南青山に移転致しました。

新住所：東京都港区南青山2-2-8  
DFビル6F

新電話番号：03-6369-8166

新FAX番号：03-6369-3805